

高浜発電所3、4号機 原子炉設置変更許可の概要

添付資料2

自然現象から発電所を守る備え(事故発生防止)

地震

- 発電所周辺の断層の運動性等について、詳細な調査を実施。



津波

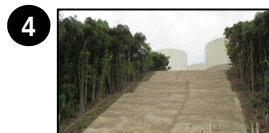
- 最大規模の津波を想定し、取水路防潮ゲート(T.P.+8.5m)、放水口側防潮堤(T.P.+8.0m)を設置。

- <水位上昇側>(入力津波高さ)
- ・取水路閉塞部前面:T.P.+6.2m
 - ・3、4号機海水ポンプ室前面:T.P.+2.8m
 - ・放水路(奥):T.P.+6.7m
- <水位下降側>(入力津波高さ)
- ・3、4号機海水ポンプ室前面:T.P.-2.5m



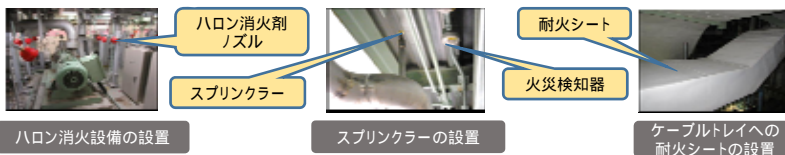
外部火災

- 森林火災の延焼を防ぐため、発電所施設周辺の樹木を伐採し、幅18mの防火帯を確保



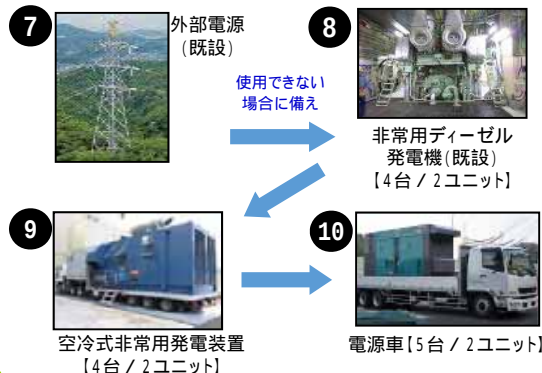
内部火災

- 火災の影響軽減の各防護対策を追加実施。
・ケーブル等に耐火シートを巻き付け。
・異なる種類の火災検知器やハロン消火設備に加え、スプリンクラー等を追加設置。



電源設備

- 外部電源の強化や、所内電源を多重化・多様化



重大事故等対策(事故進展防止)

冷却機能の強化



万一、重大事故が発生した場合に備え

重大事故等対策(事故拡大防止)

放射性物質の放出抑制対策



アクセスルート確保

- がれき撤去用重機を配備



竜巻

- 飛来物から機器を守るために竜巻対策設備を設置
過去の日本最大風速(92m/秒)を上回る、風速100m/秒の竜巻が発生した場合に、鋼製材が飛来すると想定



格納容器の水素爆発防止対策

